

2026大阪高齢者集会を開催

生き生きと安心して暮らせる社会にしよう!



●参加者全員での力強い団結ガンパロー

大阪退職者連合は、6月2日にドーンセンター(大阪市)で、「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう!」のスローガンのもと「2026大阪高齢者集会」を開催しました。集会の参加者は、全体で432人、内女性が86人で約20%の比率でした。

高齢者集会の第1部では、「十二弦の響き ～箏と津軽三味線による相奏～」渡部志津子さんの奏でる十七弦と川本高虎さんによる津軽三味線曲弾の演奏をしていただきました。



●箏と津軽三味線による曲弾

第2部では、主催者を代表して松本会長があいさつを述べ、現役を代表して連合大阪赤瀬史副会長、日本退職者連合の高橋洋子副事務局長、立憲民主党大阪府連の野村生代幹事長、国民民主党大阪府連の坂上昌史幹事長代行から激励のあいさつをいただきました。引き続き基調報告を、山下事務局長が提案しました。基調報告は、①ウクライナとロシアの戦争、アメリカ・イスラエルによるイランの戦争の早期終結と核兵器のない平和の実現②原油高、円安による物価高対策への取り組み③大阪市を廃止し特別区に分割する「大阪都構想」反対の取り組みの構築④年金・医療・介護では、介護保険制度の第10期介護保険事業計画に対する取り組みの強化などを提起し、参加者全員で確認しました。続いて嶋崎副会長が集会宣言(案)を提案し、集会参加者全体で採択しました。最後に松本会長の「団結ガンパロー」で締めくくりました。第3部のデモ行進については台風の接近により中止となりました。

誰もが安心して利用できる 介護保険制度を

厚生労働省は社会保障審議会介護保険部会と介護給付費分科会で、2027年度から始まる第10期介護保険事業計画の策定や持続可能な介護保険制度について議論を行っています。

都道府県と市町村の介護保険事業計画は、3年を1期として国の基本指針に基づき策定されます。国の基本指針の内容に多くの問題点があります。そこで、介護保険制度に詳しい大阪退職者連合の植本眞砂子副会長にお話をお伺いしました。



植本眞砂子さん

大阪退職者連合副会長、自治労府職退職者会会長、高齢社会をよくする女性の会・大阪代表 他



それ以外に今国会にかけられている社会福祉法等改正案(9つの法律改正を束ねたもので介護保険法改正の項目が16ある)には、とんでもない内容が含まれています。中山間地と人口減少地域の中で都道府県の定めにより「特定地域」とされた市町村では、事業所の人員配置基準の緩和、介護報酬の包括化、市町村事業への移行(保険給付から外れる)が可能となって、介護保険が全国一律のサービスではなくなることになります。その他にもいろいろな問題があります。

事務局 問題点だらけですね。来年4月からの第10期介護保険事業計画スタートまでのスケジュールはどうなっていますか？

植本 各自治体は昨年度にニーズ調査を実施しました。それに基づいて検討が始められています。8月から9月にかけてサービス見込み量の設定作業が行われ、10月頃に保険料の仮設定が行われます。この間に各自治体の審議会(事業運営委員会)などが開かれますので、どんな議論がされるか傍聴しましょう。12月から1月にかけて各自治体で第10期計画案のパブリックコメントが行われます。是非、意見を出してください。これを受けて3月議会

— 介護保険制度見直しの問題点は

事務局 昨年の12月に厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会で「介護保険制度の見直しに関する意見」が出され、見直し議論が進められていますが、今期見直しの問題点を教えてください。

植本 3つの焦点の内「要介護1・2の総合事業化は、引き続き検討」となりました。「利用料の2割負担の拡大」については、「第10期介護保険事業計画の開始(2027年4月)の前までに結論を得る」とされ、今夏にも結論を出すということです。また、「ケアプランの有料化」については、「有料老人ホームに登録制を導入し、ケアプラン作成と生活相談の新たな相談支援類型を創設して負担を求める」というわかりにくい結論ですが、ケアプランの有料化に風穴を開けられてしまいました。

で「第10期介護保険事業計画」が審議されます。

— 介護保険料の市町村格差

事務局 大阪の介護保険料は日本一高いですね。

植本 大阪市が9,249円で全国一位、次いで守口市8,970円、門真市8,749円と全国1～3位が大阪府内の自治体です。大阪市の高い理由として独居高齢者の割合が突出して高い、要介護認定率が全国平均より8ポイント高い、低所得者の割合が全国平均の1.5倍と高く、保険料負担の構造的問題と言われています。

全国最安値の東京都小笠原村は、大阪市と真逆の人口構成で介護保険料は3,374円です。大阪府内で一番低い千早赤阪村は4,666円で、このような市町村格差をなんとかしないといけないと思います。

— 賃金格差の是正を

事務局 2024年度訪問介護報酬の基本報酬が引き下げられましたがその影響はどうですか？

植本 働いている訪問介護員(ヘルパー)のモチベーションが下がり、小規模事業者は経営不振となり、倒産・廃業が相次ぎました。訪問介護事業所が1カ所もない自治体が115町村、残り1の自治体384市町村(全1741市区町村中の22%、2025年8月現在)このままでは、「保険あって介護なし=在宅放置」が目前です。

事務局 今年6月から介護報酬が臨時改定されますが、まだまだ低賃金で処遇改善が必要です。

植本 介護職員と全産業平均の賃金格差が月8.2万円です。今回1.9万円の臨時改定と言われますが、果たしてすべての職員に行きわたるでしょうか？せめて、全産業平均にまで引き上げないと人材の枯渇は防げません。

事務局 介護保険の1号被保険者になる65歳になったときに介護保険証を全員に送らないようになると聞いたのですが。

植本 65歳からの交付は要介護認定申請時か被保険者から請求があった時に変更するとされました。これは、介護保険証にマイナンバーカードを導入するための準備としか思えません。市町村の事務ですので、居住自治体に65歳到達時に権利としての介護保険証を交付するよう要求する必要があります。

事務局 大阪退職者連合も毎年「介護保険制度・高齢者保健福祉制度等に係る要請」を府域の自治体に行い、回答に対して大阪府、大阪市、堺市等と意見交換会をされていますが、今年はどうでしたか？

植本 日程の関係で中核市などの他の市と意見交換が出来なかったのは、残念です。大阪府も大阪市も堺市も回を重ねるごとに具体的なやり取りが出来ていますし、自治体でやることを進めていると聞いていたことがわかりました。

事務局 私たちが今やらなければならないことは？

植本 まず、何が起きているかきちんと知ることです。5月26日に衆議院を通過し参議院に送られた「社会福祉法等改正案」は、27の付帯決議をつけて参議院に送られました。なんとか修正を勝ち取りたいですね。

また、ご自分の居住している市町村の介護保険制度をきちんと知っておくことは、生活防衛として大切です。自治体のパンフレットを介護保険課か地域包括支援センターで手に入れましょう。「介護は突然やってきます！」

事務局 最後に何か言っておきたいことがあればよろしくお願いします。

植本 疑問に思ったことは、どんどん声をあげましょう！

事務局 本日はお忙しいところありがとうございました。来年4月までの限られた時間の中ですが、大阪退職者連合として高齢者の課題である「年金・医療・介護」を中心に取り組みを進めていきますので皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

日本退職者連合主催

「ジェンダー平等推進のための第14回学習会」に参加しました

3月4日(水)連合会館で開催された学習会に横川副会長が参加をしました。

学習会の初めにジェンダー平等委員会を代表して川辺委員長から「社会の多様化が進む中であらゆる場面でジェンダーに関する固定観念を見直し、より柔軟で包摂的な社会を作ることが求められている」等のあいさつがありました。続いて、連合総合政策推進局・畠山薫局長から「選択的夫婦別姓制度の導入を求

める署名63万筆を国会に提出したが、通常国会では法案が成立せず衆議院解散により廃案になった。かなり厳しい状況であるが、引き続き導入に向け取り組んでいく」等のあいさつがありました。次にジェンダー平等委員会・畠山幸子副委員長から、①ジェンダー平等委員会の取り組み、②連合の取り組み、③審議会等での議論状況について報告がありました。特に「第6次男女共同参画基本計画」にあたっての議論経過や旧姓使用が法制化されても懸念される課題等について、具体的な例をあげて説明があり参加者で課題を共有しました。

続いて、立憲民主党・辻元清美参議院議員より、「女性の政治参画」をテーマに講演がありました。講演では①諸外国の国会議員に占める女性の割合推移、②日本の女性の政治分野への参画状況と課題、③女性議員を増やすだけでなく、継続することの難しさ、などについて自身の経験やこれまでの活動をもとにお話をされました。



●講師の辻元清美参議院議員

2026年度近畿ブロックハイキング

1300年の風と歩く平城京ハイキング

日時 2026年10月15日(木) 11:00受付、11:30出発式

場所 平城宮跡歴史公園朱雀門ひろば

参加費 無料 (参加記念品もあります)

※参加希望される方は、所属の退職者会へお問い合わせください。

